

【事業所向け】 放課後等デイサービス自己評価表（エール） 2024年度

	チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	無回答	改善目標、工夫している点など
環境・体制整備	1 利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切であるか	5	3	0	0	車椅子の児童もいるため、保育室単体では十分な広さはないかもしれないが、多機能の建物の中に使えるスペースが多くあるため、贅沢に使用できていると思われる。長い廊下があり、安全に歩行訓練できるスペースもある。 屋内と屋外で活動を分けるなどの工夫をしている。 活動を分けたりしている 散歩や他の部屋を使っている。
	2 職員の配置数は適切であるか	6	2	0	0	基準よりも多くの職員配置を行っている。 職員数を増やす 多動な子供などは散歩など屋外へ
	3 事業所の設備等について、バリアフリー化の配慮が適切になされているか	8	0	0	0	段差への配慮や手すり、多目的トイレなど、児童の身体の特徴に合わせて使用できる環境がある。
業務改善	4 業務改善を進める為のPDCAサイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画しているか	5	3	0	0	法人全体で取り組み、内容については各事業所職員会議等で、周知、検討を繰り返している。 正規職員と有期職員との打ち合わせの場で振り返り等を行っている。 事業所ごとの全職員での討議時間をどう作っていくか
	5 保護者等向け評価表を活用する等によりアンケート調査を実施して保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげているか	8	0	0	0	アンケートや保護者会、個別面談等を通して、保護者の意向や意見を確認し、検討できるようにしている。
	6 この自己評価の結果を、事業所の会報やホームページ等で公開しているか	6	2	0	0	公表していることを各家庭にメールでお知らせしている。
	7 第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか	4	3	1	0	第三者評価は近年行われていないと思います。
	8 職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保しているか	8	0	0	0	虐待防止、感染症予防、災害対応など必須となっている研修の他にも、児童のケースカンファレンスを中心とした心理研修などを実施。e-ラーニングの活用もできるような環境を整えている。 外部講師による心理研修(ケース検討)など
	9 アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成しているか	6	2	0	0	アンケートや面談時のアセスメント、日々の活動の様子を元に、一人ひとりに合わせた個別支援計画を作成している。 保護者のニーズは把握できていない家庭もあると思われる。
	10 子どもの適応行動の状況を図るために、標準化されたアセスメントツールを使用しているか	3	3	2	0	児童の状況や行動特性、行動のきっかけや原因などについて、細かく話をし分析をしているが、標準化されたアセスメントツールの使用はしていない。
	11 活動プログラムの立案をチームで行っているか	5	3	0	0	利用児童数やメンバー、職員体制をもとに、活動を設定している。個人のニーズに合わせることや必要性を話し合いながら立案している。

適切な支援の提供	12	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか	4	4	0	0	変化や見通しの悪さによる不安を軽減するために、なるべく流れを変えないよう配慮している。「退屈している、飽きている」という状況が続かないよう、様子を見ながら活動設定をしている。固定化することでの児童の安定などメリットもある。その上で週毎に活動プログラムを設定するなどの工夫を行っている
	13	平日、休日、長期休暇に応じて、課題をきめ細やかに設定して支援しているか	7	1	0	0	平日は、時間の短い中でも、ゆっくりできたり、楽しめたりできるよう、活動や環境、関りを工夫している。時間の長いときは、動きある活動とゆっくりできる活動を組み合わせ、無理なく楽しめる工夫をしている。
	14	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせて放課後等デイサービス計画を作成しているか	7	1	0	0	活動(遊び)によってエリアを分けるなど、個人のやりたいことを保証できるよう環境を工夫している。設定活動など、集団で取り組むことや他者を意識して活動することも取り入れている。
	15	支援開始前には職員間で必ず打ち合わせをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認しているか	8	0	0	0	正規職員間での情報共有や有期職員を含めた情報共有など、毎日実施している。
	16	支援終了後には、職員間で必ず打ち合わせをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか	3	3	2	0	時間設定まではしていないが、支援後にその日の出来事や様子について、話をしたり情報を共有している。翌日の支援前の打ち合わせで振り返りを行っている。
	17	日々の支援に関して正しい記録を取ることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか	8	0	0	0	気付いたことは記録に残し、確認できるようにしている
	18	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断しているか	6	2	0	0	半年に一度の見直しを実施している。
	19	ガイドラインの総則の基本活動を複数組み合わせて支援を行っているか	6	2	0	0	
関係機関や保護者と	20	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画しているか	7	1	0	0	児童や会議の内容に合わせて、適した職員が参加できるよう調整している。
	21	学校との情報共有(年間計画・行事予定等の交換、子どもの下校時刻の確認等)、連絡調整(送迎時の対応、トラブル発生時の連絡)を適切に行っているか	8	0	0	0	事業所から確認したいことについても相談するようにしている。
	22	医療的ケアが必要な子どもを受け入れる場合は、子どもの主治医と連絡体制を整えているか	5	2	1	0	直接のやり取りを行うことはあまりないが、指示書の依頼や、保護者を中心に主治医からの情報をもらせるようにしている。
	23	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか	2	2	4	0	

の連携関係機関や保護者との連携	24	学校を卒業し、放課後等デイサービス事業所から障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか	7	1	0	0	情報提供できるように準備をしている。花の家で行うこともある。
	25	児童発達支援センターや発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けているか	5	2	1	0	設定日時や内容がマッチするときは積極的に参加できるようにしている。
	26	放課後児童クラブや児童館との交流や、障がいのない子どもと活動する機会があるか	0	5	3	0	公園などで一緒になることはあるが、交流を目的とはしていない。
	27	(地域自立支援)協議会等へ積極的に参加しているか	0	6	2	0	法人としては参加し、情報は各事業所の職員でも共有できるようにしている。
	28	日頃から子どもの状況を保護者と伝えあい、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか	6	2	0	0	連絡帳やメール、電話などを通して、日常的な様子についても共有できるようにしている。
	29	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対してペアレント・トレーニング等の支援を行っているか	1	6	1	0	
保護者への説明責任等	30	運営規定、支援の内容、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか	5	3	0	0	契約時に行っている。支援内容については、保護者会やホームページなどでもお知らせできるようにしている。
	31	保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っているか	6	1	1	0	相談に対しては、丁寧な対応ができるよう整えている。
	32	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援しているか	6	1	1	0	保護者会の他、法人内事業所見学会や懇親会などを通して、保護者間交流の機会を作っている。
	33	子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか	7	1	0	0	重説への記載、掲示などを通して周知している。苦情に対しては、現場での対応の他、苦情解決第三者委員会でも検討をしている。
	34	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか	6	2	0	0	法人全体の広報誌で、児童支援部の様子についてお知らせしている。
	35	個人情報に十分注意しているか	8	0	0	0	
	36	障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか	8	0	0	0	個人にあわせた情報の伝え方を工夫している。
37	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っているか	5	1	2	0		

非常時等の対応	38	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、職員や保護者に周知しているか	5	3	0	0	策定し、研修の実施もしているが、保護者への周知はあまり行っていない。
	39	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか	8	0	0	0	年2回の避難訓練、AED訓練、消火訓練を年間予定に組み込み実施している。
	40	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか	8	0	0	0	虐待防止研修、チェックリストを活用した支援の振り返りを年一回実施している。毎月、虐待防止委員会を開催し、内容については職員会議で報告している。
	41	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了承を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載しているか	6	2	0	0	
	42	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか	6	1	1	0	必要な体制を整えている。
	43	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有しているか	6	1	1	0	インシデントやアクシデントについては事故検証を行い、朝礼や職員会議で周知している。

